

■ AR技術を活用した出来形の見える化

【実施内容】 ICT土工の出来形管理で作成したヒートマップを3次元モデルのテクスチャーとして貼り付け、出来形段階確認（立会）時に活用した。

【効果】 AR機能により現地での出来形の見える化を行ったことで、出来形の確認が容易となった。

【必要スキル】 ①3次元CADの操作 ②VR・AR・MRの作成・投影技術 ③設計モデルと計測データの差分分析

